ID: 0180

10.4.30

2009年度開講科目

# 調査実習概要報告書



2010年4月28日

| 科目担当者氏名 | 科目担当者連絡先（メールアドレス） |
|---|---|
| （ふりがな）　もりゆういち・くろだまさひろ<br>森　裕一・黒田正博 | |
| **連絡責任者氏名** | **科目設置機関名** |
| （ふりがな）　もり　ゆういち<br>森　裕一 | 岡山理科大学 |

| 授業科目名 | 科目認定番号 | 受講者数 |
|---|---|---|
| 社会情報実習D | OKRa-090802-2 | 1 |
| 社会調査実習 | OKRa-090901-2 | 50 |

## Ⅰ．調査実習に関するコメント

**学生が果たした役割や実習全般に対する感想など：**
受講者を1名または2名のグループに分け，各グループで1つのテーマを決め，その実態やそこに存在する問題を明らかにすることを目指した。これまでの学習で得た知識を総動員し，アンケート調査のすべての過程を全員が踏む形（2名のグループでは相談や共同作業は認めるが，企画書，質問票，報告書などは1人1人が作成するものとした）で調査を実施した。特に，本講義では，もう1つのG科目である社会情報実習Ｂまたは社会情報実習αと学習ポイントを変え，コンピュータを利用した量的データの分析とWeb公開を前提とした報告書の作成に重点を置いた。これにより，学習内容の確認や座学では得られない知識の習得，何よりも調査によって明らかになった同年代の実態や考えなど，学生にとって多くの得るものがあったと考える。

## Ⅱ．調査の企画・設計（デザイン）

**１．調査のテーマ／領域：**
次のテーマから，グループで関心のあるものを1つ選び，アンケート調査を企画・実施した。
政権政治 税金・無駄遣い 経済問題 教育問題 社会マナー 少子化問題 結婚観 喫煙／飲酒 環境意識 郷土意識 政令指定都市 地方活性 コンビニ 電子マネー クレジット ICカード インフラ プライバシー 携帯電話 ユビキタス ウイルス ネットショッピング モバイル 地上デジタル放送 世界遺産 旅行 食堂環境 文字・漢字 若者の金銭感覚 マルバイト

**２．調査の内容／概要：**
選択したテーマに関する若者の意識（実情，感じている問題点，解決の方向など）について明らかにする。

**３．調査の範囲／対象（量的調査の場合は母集団と標本数及びサンプリングの方法を、質的調査の場合は対象者選定の理由を必ず記入）：**
母集団を大学生（学科内）とし，その意識や実態を明らかにするアンケート調査として実施した。サンプリングについては，名票をもとにした単純無作為抽出または層化無作為抽出により調査対象を抽出した。

**４．主な調査項目：**
選択したテーマで明らかにした点と照らし合わせ，次に該当する質問を必ず入れた質問紙を作成した。
回答者の経験や事実（もっているブランドなどの質的項目，金額や回数などの量的項目）・現状に対する意識や感じている問題点（好みや気持ちを尋ねるもの）・改善の方向や今後に期待すること・フェイスシート

## Ⅲ．データ収集の方法と結果

**５．データ収集（現地調査）の方法：**
質問紙によるアンケート調査。３で抽出された調査対象者に，調査票作成者自身が調査員として実査に出かけ，データ収集を行った。

**６．調査の実施時期・調査地・調査員の数：**
2009年5月～6月，岡山理科大学内，各アンケートにつきグループ全員（1名ないし2名）

**７．収集したデータの量と質への評価（量的調査の場合は有効回収票数及び回収率を必ず記入）：**
アンケート調査のシミュレーションであることと，調査の範囲を考慮し，50名を最低調査数とした。調査員が訪ねてその場で回収する形をとっているので，95％以上の回収率がある。

## Ⅳ．データ分析の方法と結果

**８．データ分析／解釈の方法：**
単純集計，複合集計（計数×計数：クロス集計，計量×計量：散布図，相関，計数×計量：クロス集計），仮説検定

**９．調査の成果（調査から得られた主な知見など）：**
それぞれのテーマで，実態，感じている問題点，解決の方向などが得られている。

**10．報告書刊行の予定と概要：**
報告書はHTML形式で作成し，Webに公開する。

＜記入上の注意点＞ 1. 調査のテーマ毎に用紙を替えて(3つのテーマを立てて実施した場合は合計3枚に渡って)ご記入下さい。
2. 最上部の*印の箇所には数字を(「*/*」には、報告書が複数枚になる場合のみ、3枚中の1枚目なら1/3と)ご記入下さい。
3. 全ての項目について具体的にご記入下さい。但し、1テーマ毎に印刷が必ずA4サイズ1枚に収まるようにして下さい。フォントサイズは変えず(設定してある通りにして)、項目毎に分量に応じて「行の高さ」を変えることで調整していただけたら幸いです。
~~4. 報告書はウェブ上で公開する予定です。また、調査実習情報をDB化することも検討しています。ご承知置きの上、ご記入下さい。~~